

オーディオ実験室収載

ミュージックサーバーの試聴(2) —FIDATA と micro iDSD の動作テスト(1)—

1. はじめに

ネットワークオーディオについては以前から関心を持っており試聴会に参加してきましたが、音楽用 NAS あるいはミュージックサーバーがバッファロと IO データ機器から発売されたので、さらに関心が高まり、機会を捉えて試聴してきました。

これまでバッファロの DELA については下記の機会で聴いております。

[2015 大阪サウンドコレクション報告\(2015.6.6-6.7\)](#)

[オーディオセッション in Osaka 2015 報告\(2015.11.7\)](#)

また、IO データ機器の FIDATA については下記の機会で聴いております。

[AVAC ネットワークオーディオ試聴会報告\(2016.4.23\)](#)

[AVAC 大阪梅田店試聴会報告\(2016.7.18\)](#)

さらに、ショップ店頭での DELA と FIDATA の聴き比べも行っています。

[ミュージックサーバーの試聴\(1\)](#)

今回、現有機器にて FIDATA の活用が即可能かどうかを確認するため、AVAC 梅田店の試聴室に機器やケーブルを持ち込んで、ネットワークオーディオに関心のある M 谷氏にもご同席いただき、DSD 音源を中心にテストさせていただくことにしました。

2. FIDATA の試聴方法

2-1) 使用機器

ミュージックサーバー : FIDATA HFAS1-S10

ルーター : IO データ機器 WN-AX116 / GR

DAC : iFI micro iDSD / OPPO HA-1

コントローラー : iPhone 6Plus (Kinsky / Lumin インストール)

プリアンプ : ESOTERIC C02X

パワーアンプ : ESOTERIC S02

スピーカー : B&W 802D3

ケーブル : リベラメンテ、USB リベラメンテ

USB ラインノイズキャンセラー : iFI iPurifier2 (Type A)

2-2) テスト内容

FIDATA と micro iDSD の接続確認

iPhone 6Plus への必要なコントロールアプリのインストールとルーターの認識確認

現有ケーブルおよびノイズキャンセラー使用時の音質確認

2-3) 音源

11.2MHzDSD/5.6 MHz DSD



当日のセッティング

3. FIDATA の試聴結果

最初に店にある OPPO の DAC と FIDATA の組み合わせで、FIDATA の中にある音源を店のタブレットの Kinsky で操作しながら、DAC と FIDATA の USB 接続の音の傾向を把握させてもらいました。次に、DAC を OPPO から micro iDSD に替えて、持参した OPPO が受けられる 5.6 MHz DSD 音源を再生しようとする再生できません。持参した Kinsky をインストールした iPhone 6Plus でルーターを認識させても同様です。そこでコントローラーのソフトとして Lumin アプリをインストールして使用しますと、5.6 MHz DSD も 112. MHz DSD 音源も再生ができるようになりました。

無事再生ができるようになったことで、micro iDSD から C02X への RCA ケーブルをリベラメンテに替え、さらに FIDATA から micro iDSD への USB ケーブルを USB リベラメンテに替え、さらに USB ケーブルから micro iDSD への入力の前に iPurifier2 を挿入するという手順で音質を確認していきました。

音質については、OPPO の DAC で PCM 音源を聴いた場合は、すでに [AVAC 大阪梅田店試聴会報告\(2016.7.18\)](#) で報告したとおりの音であることが確認できました。次に、DAC を micro iDSD に替えて DSD 音源を聴いてみますと、DSD 音源の良さが確認できました。RCA ケーブルと USB ケーブルを店のケーブルからリベラメンテと USB リベラメンテにそれぞれ交換しますと、いつも聴いているクラシック向きの音楽性の豊かな音になりました。また、iPurifier2 を挿入すると、さらに分離と透明度が上がったように感じました。自宅の【外付け HDD→Windows8.1 機 (HQPlayer

インストール) →iPurifier2 →micro iDSD】の PC オーディオの音と比べますと、自宅では e-onkyo や DSD Native からのダウンロードおよび Prosound の付録の 11.2MHzDSD の満足度は高いものの、TASCAM DA-3000 で録音した自前の 5.6MHzDSD 音源には不満が残っていましたが、FIDATA からの再生では 5.6MHzDSD 音源も 11.2MHzDSD なみの満足度になりました。特に古いアナログから録音したジュリーニ／シカゴ響のマーラーの 1 番は非常に鮮度高く感じましたし、ブルーレイレコーダーの録画から録音した山田和樹／パリ管の幻想の弦やティンパニもリアルに聴けました。また、5.6MHzDSD 音源では、針音ノイズは別として、これらがアナログ由来か、ブルーレイレコーダー録画由来かの違いも分かりました。

4. まとめ

コントローラーのソフトとして Lumin アプリをインストールした iPhone 6 Plus と FIDATA と micro iDSD の組みあわせで、11.2MHzDSD と 5.6 MHz DSD の再生ができることが分かりました。さらにケーブルの違いや iPurifier2 の効果やインターネット用ルーターと切り離れたルーターで FIDATA と micro iDSD を動作させることができることも分かりました。iPurifier2 はこれまで PC と USB-DAC の間に入れて使用してきましたが、FIDATA と DAC の間に入れて使用できることも分かりました。FIDATA と micro iDSD の組み合わせによる DSD 音源の再生は、自宅の PC オーディオによる再生にない透明度の高い音の魅力があると言えます。

今回、Kinsky を使用すると FIDATA と micro iDSD の組みあわせでは DSD 音源の再生ができませんでした。その後訪問した ASC では Kinsky を使用しても DELA と micro iDSD の組みあわせでは DSD 音源の再生ができたということでした。FIDATA と DELA は、メーカーのホームページによると、ともに DSD 再生は DoP で対応しているとのことですので、DSD 音源再生におけるコントローラーの選択の問題は課題として残りました。

註：Kinsky で DSD 音源再生ができない問題については、メーカーへの質問を行ったところ、販売店経由で回答があり、当日、「DoP 設定」→「OFF」にしていたのが間違いで「ON」にすべきであったということでした。また Lumin アプリでは「DoP 設定」→「OFF」でも DSD 音源再生ができたのは LUMIN アプリに独自にライブラリー内を検索して曲情報を作る機能があるからだそうです。つまり、こういった情報が販売店に的確に伝達されていなかったということです。

また、その後、接続のモード設定 (AP モード vs..ルーターモード) および PC やスマホから NAS である FIDATA の内容を確認したり、設定したりする「LAN DISK コネクト」や「Magical Finder」のインストールが必要なこと (これまでの試聴会などでは触れられていなかったこと)、マニュアルが散在していて、どの段

階でどのマニュアルを見ればいいのか分かりにくいことなどが明らかになったので、質問事項を準備し、また **Kinsky** での確認を再度行うことになりました。

以上